

吉谷 武志

YOSHITANI, Takeshi



【共同研究】

- 2019年度国際教育センター研究プロジェクト「多文化住民散在地域における学習・生活支援体制の構築に関する研究」を実施した。
本研究は多文化化が進む地域において、言語や宗教、生活習慣など多様な背景を持つ住民の子育てや生活支援、就学などに関して、住民自らが相互交流を通して地域作りをする現状について調査研究を進めるものである。
- 2019年度東京学芸大学特別開発研究プロジェクト「性の多様性に応じる学校に関する研究—授業作りから環境整備まで—」を実施した。
本研究は本学附属世田谷中学校、世田谷小学校の教員との共同研究である。児童生徒の多様性が進む今日、特にセクシュアル・マイノリティの児童生徒に焦点を当て、各地実践、実態を明らかにすると共に、附属学校での先進的な実践を模索するものである。

【科研費等の研究】

- 「排他的国民教育から包摂的市民教育への質的、制度的転換の模索—欧州審議会の教育支援」（基盤研究（C）平成30年～平成32年）の2年目の研究に取り組んだ。

【研究業績】

1.論文

- 吉谷武志（伊藤亜希子、古賀美津子、宮寄祐子との共著）（2019）「多文化共生の試みをつなぐ公民館—福岡市東区香椎浜地域のこれまでの取り組み—」『国際教育評論』第16号、国際教育センター、67～85頁
- 吉谷武志（2015）「国際理解に関する学習—社会科における新しい課題—」『教師用指導書 小学社会 総論』日本文教出版社、174～183頁

2.学会発表

- 吉谷武志「多文化社会における市民性教育支援人材養成の試み—Council of EuropeのPestalozzi Programmeについて—」（日本比較教育学会、第54回大会、広島大学、2018年6月23日）

3.教科書

- 『小学校社会』（3年、4年、5年、6年生）（2020年度版）日本文教出版 共著者

4.報告書

- 2019年度東京学芸大学特別開発研究プロジェクト「性の多様性に応じる学校に関する研究—授業作りから環境整備まで—」（概要）を作成し、報告会で報告した。（2020年3月）

5.その他

- 吉谷武志「遠眼鏡」『福祉研協会報』福岡県社会科学研究協議会
「子どもの声を大人社会は受け止めていますか—対話により育まれる能力が導く社会は子どもたちの活躍する将来の社会—」No.60-1（2019年10月）
「多文化社会の国際的な課題を裁く視点 国際刑事裁判所を見学して」No.60-2（2019年11月）
「多文化社会の現実—話題作からみる日本社会、学校の変化—」No.60-3（2020年1月）
「新型コロナウイルスの流行の中で—子どもたちの学習を支援するために—」No.60-4（2020年3月）

【海外調査】

- 2019年8月～9月 ハンブルグ大学で開催された「欧州教育

研究会（European Education Research Association, ECER）大会2019、“Education in An Era of Risk”, University of Hamburgに参加し、あわせてベルリンにおいて「国際NGOアンネ・フランク・センター（ベルリン、Anne Frank Zentrum）」他を訪問し、異文化間教育、市民性教育に関する調査・資料収集を実施した。

- 2019年11月 アムステルダムで開催された「国際異文化間教育学会（International Association of Intercultural Education）の年次大会（会場DENISE校、DE Nieuwe Internationale School Esprit）に参加し、国際NGO「アンネ・フランク・ハウス（Anne Frank House, Amsterdam）」でホロコースト教育に関する情報交換及び資料収集、さらにグラーツ（Graz, Austria）で「欧州現代言語センター（Council of Europe, European Centre of Modern Language）」を訪問し、欧州の言語教育に関する情報収集を行った。

【講演会・研修会への参加】

- 2019年7月25日 東京都小学校日本語指導研究会（葛飾区立葛西小学校）で「外国人児童生徒の現状と課題—多文化の子ども理解とその支援のために—」と題して講演した。
- 2019年9月18日 あさる野市立南秋留小学校の校内研修で「多文化社会に生きる子どもたちを育てる—一人一人を大切にすること—」と題して講演した。
- 2019年9月20日 北九州市国際交流協会で「多文化の子ども教育上の課題について」と題して講演した。
- 2019年12月1日 福岡市東区香椎浜公民館において「地域に共に生きる生活者として相互理解のために—身近な異文化理解（交流）から—」と題して講演した。

【社会的活動】

- 福岡県社会科学研究協議会会長
- NPO法人「ともに生きる街ふくおかの会」理事長

【学内の活動】

- 国際教育センター主催のJSL研修会で「外国人児童生徒教育の現状と課題」と題して講演した（2019年5月11日）。
- 国際教育センター主催の「学校におけるセクシュアル・マイノリティ教育・支援研修—だれもがあらひのままにいられる学校のために—」で「学校におけるセクシュアル・マイノリティの現状」と題して報告した（2019年7月6日）。
- 本学の教育支援経費の交付を得て「教師を目指す学生のためのセクシュアル・マイノリティ理解講座—LGBTQからSOGLIに、当事者と語り理解を深める時間—連続講演会」（2019年1月27日～31日）を開催した。
- 国際教育センターと小牧市協議会との共催、小牧市教育委員会の開催協力で、「サテライト・セミナー・イン小牧」を企画し、「JSL児童生徒の現状と受け入れ体制づくり」等の講義を行った。（2019年8月23日愛知県小牧市）

【主な学会活動】

- 異文化間教育学会 理事（2017年6月～2019年5月）
- 日本比較教育学会
- 日本国際理解教育学会
- International Association for Intercultural Education

【教育活動】

- 教育学研究科（教職大学院）で「学校教育とマイノリティ」（講義）及び「国際理解・多文化共生教育演習」を担当した。